# VII 観光動態調査ルート分析

# 1. はじめに

## ● 報告書について

この報告書は令和4年に行われた観光統計調査のデータを基に、旅行者が立ち寄った県内市町村の割合を発地別、年齢別、旅行形態別、旅行目的別に作成した(P148:2. 立寄市町村割合)。また、それらを参考にして周遊性の特に高いルートを抽出、分析した(P156:3. 周遊ルート分析)ものである。

#### ● 調査地点について

高知県内の観光地(10 地点:室戸岬、モネの庭、アンパンマンミュージアム、龍河洞、高知城、 桂浜、土佐和紙工芸村、黒潮本陣、四万十川、足摺岬)でアンケート調査を実施している。

### ● 発地ブロックについて

• 旅行者の居住都道府県を地域ブロック単位でまとめ、発地ブロックと表している。 各発地ブロックは以下の通りである。

北海道·東北:北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県 関東:茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北陸•新潟 :新潟県、富山県、石川県、福井県

甲信•東海 :山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県

近畿 : 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国:鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国:徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州•沖縄 :福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

海外:すべての海外旅行者

# 2. 立寄市町村割合

## ● 集計方法について

• 立寄市町村割合では、調査時に旅行者から回答のあった「訪問した(する予定の)観光 地」のうち、<u>観光入込客統計に関する共通基準を満たした地点</u>を、市町村地域別に集計 した。

※観光入込客統計に関する共通基準

- 1. 非日常利用が多いと判断される地点であること。
- 2. 観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- 3. 前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込数5千人以上であること。
- すべての割合データ(%表記)は、<u>小数点以下2位</u>で四捨五入した数値を使用している。 そのため、合計が100%にならない場合がある。
- 立寄市町村の16地域は以下の通りである。

01 東洋·室戸 :東洋町、室戸市

02 奈半利•田野等 : 奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村

03 安芸•芸西 :安芸市、芸西村

04 香南 :香南市

05 南国•香美 :南国市、香美市

06 本山·大豊等 :本山町、大豊町、土佐町、大川村

07 高知:高知市08 いの:いの町

09 土佐・日高 :土佐市、日高村

10 佐川・越知等 :佐川町、越知町、仁淀川町

11 須崎·中土佐 : 須崎市、中土佐町 12 梼原·津野 : 梼原町、津野町

13 四万十町 :四万十町

 14 黒潮・四万十市
 :黒潮町、四万十市

 15 宿毛・三原
 :宿毛市、三原村

 16 土佐清水・大月
 :土佐清水市、大月町

148

#### ● 調査結果の概要

立寄観光地の延べ件数 (P150-151) は、9,958 件となり、前年度の9,282 件から7.3 ポイントの増加となっている。 県内16 地域の立寄数は、「高知」が33.4%と最も多く、次いで「南国・香美」が11.4%、「土佐清水・大月」が9.2%、「東洋・室戸」が8.8%、「黒潮・四万十市」が8.6%と続いている。この上位5地域で全体の71.4%を占めている。

発地ブロック別(P150-151)にみると、すべてのブロックで「高知」が最も多くなっている。次いで、 北海道・東北、関東、九州・沖縄は「黒潮・四万十市」、北陸・新潟、甲信・東海は「土佐清水・大 月」、近畿、中国、四国は「南国・香美」が2番目に多くなっている。平均立寄数は、関東が3.4件と 最も多く、四国が1.9件と最も少なくなっている。

年代別(P152)にみると、すべての年代で「高知」が最も多くなっている。次いで、10 代から 40 代は「南国・香美」、50 代は「土佐清水・大月」、60 代以上は「東洋・室戸」が2番目に多くなっている。 平均立寄数は、50 代が 2.6 件と最も多く、10 代が 2.2 件と最も少なくなっている。

旅行形態別(P153)にみると、すべての旅行形態で「高知」が最も多くなっている。次いで、"家族" と"団体"は「南国・香美」、"友人・知人"と"一人"は「土佐清水・大月」、"その他"は「黒潮・四万十市」が2番目に多くなっている。平均立寄数は、"友人・知人"が2.6件と最も多く、"団体"が2.2件と最も少なくなっている。

旅行目的別(P154-155)にみると、"神仏霊場"は「土佐清水・大月」、それ以外の旅行目的は「高知」が最も多くなっている。平均立寄数は、"神仏霊場"が3.1件と最も多く、"その他"が1.5件と最も少なくなっている。

# 2-1. 発地別立寄市町村割合

# (表 2-1)発地別立寄市町村割合(件)[発地ブロック別]

		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
		東洋室戸	奈半利 田野 等	安芸芸西	香南	南国香美	本山 大豊 等	高知	いの	土佐日高	佐川 越知 等	須崎 中土佐	梼原 津野	四万十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
北海道·東北	(n=34)	12	3		3	8		49	3			3			17	2	4	104	1.0	3.1
関東	(n=479)	97	57	15	17	121	6	717	112	3	18	40	42	27	188	8	153	1,621	16.3	3.4
北陸·新潟	(n=21)	6	2	1		5		20	2			1	2	1	7	1	10	58	0.6	2.8
甲信·東海	(n=193)	55	24	2	12	47	5	229	41	2	7	24	20	11	58	11	61	609	6.1	3.2
近畿	(n=829)	221	108	14	52	263	3	988	153	1	13	86	35	39	233	12	237	2,458	24.7	3.0
中国	(n=377)	80	41	9	21	117	5	417	78	1	6	56	18	26	88	10	107	1,080	10.8	2.9
四国	(n=1,946)	387	391	36	109	551	13	767	309	15	23	401	23	93	219	30	301	3,668	36.8	1.9
九州·沖縄	(n=119)	17	6		6	23		138	34	1	5	8	16	5	48	2	41	350	3.5	2.9
海外	(n=2)					1		2	1						2		4	10	0.1	5.0
全体	(n=4,000)	875	632	77	220	1,136	32	3,327	733	23	72	619	156	202	860	76	918	9,958	100.0	2.5

# (表 2-2)発地別立寄市町村割合(%)[発地ブロック別]

· 2 /	,,,,,		-, -,-		, , , ,	- ` '	, L ,										
		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16
		東洋 室戸	奈半利 田野 等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊 等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知 等	須崎 中土佐	梼原 津野	四万十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
北海道·東北	(n=34)	11.5	2.9		2.9	7.7		47.1	2.9			2.9			16.3	1.9	3.8
関東	(n=479)	6.0	3.5	0.9	1.0	7.5	0.4	44.2	6.9	0.2	1.1	2.5	2.6	1.7	11.6	0.5	9.4
北陸·新潟	(n=21)	10.3	3.4	1.7		8.6		34.5	3.4			1.7	3.4	1.7	12.1	1.7	17.2
甲信·東海	(n=193)	9.0	3.9	0.3	2.0	7.7	0.8	37.6	6.7	0.3	1.1	3.9	3.3	1.8	9.5	1.8	10.0
近畿	(n=829)	9.0	4.4	0.6	2.1	10.7	0.1	40.2	6.2	0.0	0.5	3.5	1.4	1.6	9.5	0.5	9.6
田	(n=377)	7.4	3.8	8.0	1.9	10.8	0.5	38.6	7.2	0.1	0.6	5.2	1.7	2.4	8.1	0.9	9.9
四国	(n=1,946)	10.6	10.7	1.0	3.0	15.0	0.4	20.9	8.4	0.4	0.6	10.9	0.6	2.5	6.0	0.8	8.2
九州・沖縄	(n=119)	4.9	1.7		1.7	6.6		39.4	9.7	0.3	1.4	2.3	4.6	1.4	13.7	0.6	11.7
海外	(n=2)					10.0		20.0	10.0						20.0		40.0
全体	(n=4,000)	8.8	6.3	0.8	2.2	11.4	0.3	33.4	7.4	0.2	0.7	6.2	1.6	2.0	8.6	0.8	9.2

<sup>※</sup> 白抜き はブロックで1位、 太字 は同2位

# (表 2-3)発地別立寄市町村割合(%)[四国]

		東洋 室戸	奈半利 田野 等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊 等	高知	いの	土佐日高	佐川 越知 等	須崎 中土佐	梼原 津野	四万十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
徳島県	(n=187)	22.0	9.5	1.8	4.3	15.2		21.3	2.9	0.2	0.5	2.7	1.1	2.9	5.4	1.6	8.4
香川県	(n=311)	9.0	6.7	0.1	4.3	18.1	0.6	25.5	5.2	0.1	0.1	8.8	0.3	2.9	7.1	1.3	9.7
愛媛県	(n=441)	6.7	7.2	0.7	3.6	15.3	0.3	26.3	8.7	0.4	1.0	9.0	1.1	2.2	5.9	1.0	10.4
高知県	(n=1,007)	10.4	14.8	1.3	1.6	13.4	0.4	15.5	11.2	0.6	0.6	15.3	0.3	2.5	5.7	0.3	6.2
四国	(n=1,946)	10.6	10.7	1.0	3.0	15.0	0.4	20.9	8.4	0.4	0.6	10.9	0.6	2.5	6.0	0.8	8.2

## ・立寄観光地の延べ件数

すべての旅行者が立寄った観光地は全体で 9,958 件となっている。発地ブロック別にみると、 "四国"が 3,668 件(36.8%)と最も多く、次いで、"近畿"が 2,458 件(24.7%)、"関東"が 1,621 件(16.3%)、"中国"が 1,080 件(10.8%)と続いている。

平均立寄数は全体で 2.5 件となっている。発地ブロック別にみると、"関東"が 3.4 件と最も多く、 次いで、"甲信・東海"が 3.2 件、"北海道・東北"が 3.1 件、"近畿"が 3.0 件、"中国"と"九州・沖 縄"が 2.9 件と続いており、"四国"が 1.9 件と最も少なくなっている。

#### ・上位を占めた立寄市町村

立寄った観光地の市町村をみると、「高知」が 3,327 件(33.4%)と最も多く、次いで「南国・香美」が 1,136 件(11.4%)、「土佐清水・大月」が 918 件(9.2%)、「東洋・室戸」が 875 件(8.8%)、「黒潮・四万十市」が 860 件(8.6%)と続いている。

### ・発地ブロックごとの立寄市町村の傾向

立寄った観光地の市町村を発地ブロック別でみると、すべてのブロックで「高知」が最も多くなっている。2番目に多くなった市町村は、"北海道・東北""関東""九州・沖縄"が「黒潮・四万十市」、 "北陸・新潟""甲信・東海"が「土佐清水・大月」、"近畿""中国""四国"が「南国・香美」となっている。

なお、"県内旅行者"は「高知」「須崎・中土佐」「奈半利・田野等」の順で多くなっている(P150:表 2-3)。

# 2-2. 年代別立寄市町村割合

## (表 2-4)年代別立寄市町村割合(件)

		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
		東洋 室戸	奈半利 田野 等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊 等	高知	いの	土佐日高	佐川 越知 等	須崎 中土佐	梼原 津野	四万十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
10代	(n=48)	9	7		3	17	2	48	3			8			3		4	104	1.0	2.2
20代	(n=498)	97	67	10	15	157	4	461	97	1	15	58	30	19	112	6	87	1,236	12.4	2.5
30代	(n=735)	121	77	8	69	326	4	606	98	5	5	100	25	30	143	12	145	1,774	17.8	2.4
40代	(n=880)	152	87	7	60	284	6	751	148	2	15	136	35	47	224	18	234	2,206	22.2	2.5
50代	(n=903)	235	140	24	39	192	7	753	191	4	24	169	43	48	211	9	236	2,325	23.3	2.6
60代以上	(n=936)	261	254	28	34	160	9	708	196	11	13	148	23	58	167	31	212	2,313	23.2	2.5
全体	(n=4,000)	875	632	77	220	1,136	32	3,327	733	23	72	619	156	202	860	76	918	9,958	100.0	2.5

### (表 2-5)年代別立寄市町村割合(%)

•	·	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16
		東洋 室戸	奈半利 田野 等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊 等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知 等	須崎 中土佐	梼原 津野	四万十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
10代	(n=48)	8.7	6.7		2.9	16.3	1.9	46.2	2.9			7.7			2.9		3.8
20代	(n=498)	7.8	5.4	0.8	1.2	12.7	0.3	37.3	7.8	0.1	1.2	4.7	2.4	1.5	9.1	0.5	7.0
30代	(n=735)	6.8	4.3	0.5	3.9	18.4	0.2	34.2	5.5	0.3	0.3	5.6	1.4	1.7	8.1	0.7	8.2
40代	(n=880)	6.9	3.9	0.3	2.7	12.9	0.3	34.0	6.7	0.1	0.7	6.2	1.6	2.1	10.2	0.8	10.6
50代	(n=903)	10.1	6.0	1.0	1.7	8.3	0.3	32.4	8.2	0.2	1.0	7.3	1.8	2.1	9.1	0.4	10.2
60代以上	(n=936)	11.3	11.0	1.2	1.5	6.9	0.4	30.6	8.5	0.5	0.6	6.4	1.0	2.5	7.2	1.3	9.2
全体	(n=4,000)	8.8	6.3	0.8	2.2	11.4	0.3	33.4	7.4	0.2	0.7	6.2	1.6	2.0	8.6	0.8	9.2

※ 白抜き は年代で1位、 太字 は同2位

#### ・立寄観光地の延べ件数

年代別に立寄った観光地をみると、50 代が 2,325 件(23.3%)と最も多く、次いで、60 代以上が 2,313 件(23.2%)、40 代が 2,206 件(22.2%)、30 代が 1,774 件(17.8%)、20 代が 1,236 件(12.4%)、10 代が 104 件(1.0%)と続いている。

平均立寄数は、50代が2.6件と最も多く、次いで20代、40代、60代以上が2.5件、30代が2.4件、10代が2.2件と続いている。

# ・年代ごとの立寄市町村の傾向

すべての年代で「高知」が最も多く、若年層のほうが占める割合は多くなっている。次いで、10 代から 40 代までは「南国・香美」が、50 代は「土佐清水・大月」、60 代以上は「東洋・室戸」が多くなっている。

- 10代:「高知」「須崎・中土佐」「本山・大豊等」で年代別の1位となっている。
- 20代:「梼原・津野」「佐川・越知等」で年代別の1位となっている。
- 30代:「南国・香美」「香南」で年代別の1位となっている。
- 40代:「土佐清水・大月」「黒潮・四万十市」で年代別の1位となっている。
- 50代:「土佐清水・大月」「東洋・室戸」「黒潮・四万十市」などで年代別の2位となっている。
- 60 代以上:「東洋・室戸」「奈半利・田野等」「いの」などで年代別の1位となっている。

## 2-3. 旅行形態別立寄市町村割合

## (表 2-6)旅行形態別立寄市町村割合(件)

		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
		東洋 室戸	奈半利 田野 等	安芸 芸西	香南	南国香美	本山 大豊 等	高知	いの	土佐日高	佐川 越知 等	須崎 中土佐	梼原 津野	四万十町	黒潮 四万 十市	宿毛三原	土佐 清水 大月	合計 (件)	割合(%)	平均 立寄数 (件)
家族	(n=2,804)	594	473	46	195	935	21	2,289	471	20	42	456	89	140	586	56	610	7,023	70.5	2.5
友人・知人	(n=589)	116	77	11	16	123	3	610	136		13	99	34	24	127	4	139	1,532	15.4	2.6
団体	(n=11)	1				3		16	2						2			24	0.2	2.2
その他	(n=16)					6		16	3		1	1			7	1	4	39	0.4	2.4
一人	(n=580)	164	82	20	9	69	8	396	121	3	16	63	33	38	138	15	165	1,340	13.5	2.3
全体	(n=4,000)	875	632	77	220	1,136	32	3,327	733	23	72	619	156	202	860	76	918	9,958	100.0	2.5

#### (表 2-7)旅行形態別立寄市町村割合(%)

	77314137		<i></i>	, .,			_ ` `	•									
		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16
		東洋室戸	奈半利 田野 等	安芸 芸西	香南	南国香美	本山 大豊 等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知 等	須崎 中土佐	梼原 津野	四万十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
家族	(n=2,804)	8.5	6.7	0.7	2.8	13.3	0.3	32.6	6.7	0.3	0.6	6.5	1.3	2.0	8.3	8.0	8.7
友人・知人	(n=589)	7.6	5.0	0.7	1.0	8.0	0.2	39.8	8.9		0.8	6.5	2.2	1.6	8.3	0.3	9.1
団体	(n=11)	4.2				12.5		66.7	8.3						8.3		
その他	(n=16)					15.4		41.0	7.7		2.6	2.6			17.9	2.6	10.3
一人	(n=580)	12.2	6.1	1.5	0.7	5.1	0.6	29.6	9.0	0.2	1.2	4.7	2.5	2.8	10.3	1.1	12.3
全体	(n=4,000)	8.8	6.3	0.8	2.2	11.4	0.3	33.4	7.4	0.2	0.7	6.2	1.6	2.0	8.6	0.8	9.2

※ 白抜き は旅行形態で1位、 太字 は同2位

#### 立寄観光地の延べ件数

旅行形態別に立寄った観光地をみると、"家族"が 7,023 件(70.5%)と最も多く、次いで、"友人・知人"が 1,532 件(15.4%)、"一人"が 1,340 件(13.5%)、"その他"が 39 件(0.4%)、"団体" が 24 件(0.2%)と続いている。

平均立寄数は、"友人・知人"が 2.6 件と最も多く、次いで、"家族"が 2.5 件、"その他"が 2.4 件、"一人"が 2.3 件、"団体"が 2.2 件と続いている。

## ・旅行形態ごとの立寄市町村の傾向

すべての旅行形態で「高知」が最も多く、次いで、"家族"と"団体"が「南国・香美」、"友人・知人" と"一人"が「土佐清水・大月」、"その他"が「黒潮・四万十市」と続いている。

- 家族:「奈半利・田野等」「須崎・中土佐」「香南」などで旅行形態別の1位となっている。
- 友人・知人:「いの」「梼原・津野」「香南」などで旅行形態別の2位となっている。
- 団体:「高知」で旅行形態別の1位となっている。
- その他:「黒潮・四万十市」「南国・香美」「佐川・越知等」「宿毛・三原」で旅行形態別の1位となっている。
- 一人:「土佐清水・大月」「東洋・室戸」「いの」などで旅行形態別の1位となっている。

# 2-4. 旅行目的別立寄市町村割合

## (表 2-8)旅行目的別立寄市町村割合(件)

		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
		東洋室戸	奈半利 田野 等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊 等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知 等	須崎 中土佐	梼原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
自然見物	(n=940)	235	321	28	34	208	5	726	201	1	30	45	48	37	261	2	275	2,457	24.7	2.6
休養	(n=126)	28	30	3	3	28		69	32	1	1	47	3	6	29	3	22	305	3.1	2.4
祭り	(n=37)	6	6		3	5		33	10	1	6	2		2	1	1	3	79	0.8	2.1
アウトドア	(n=152)	29	5	1	1	20	2	80	49		11	41	12	7	61	3	56	378	3.8	2.5
スポーツ	(n=22)	3	1	6		3		18	3			2		1	8		2	47	0.5	2.1
食べ物	(n=707)	120	55	10	20	163	4	800	123	3	5	313	31	33	134	3	114	1,931	19.4	2.7
神仏霊場	(n=127)	52	21	2	9	44		49	6	7		1		56	9	49	90	395	4.0	3.1
買い物	(n=181)	56	11	1	6	14	3	85	48	4	1	53	1	9	18		3	313	3.1	1.7
名所旧跡	(n=906)	137	109	12	93	471	5	1,048	82		9	20	19	17	94	5	163	2,284	22.9	2.5
なんとなく	(n=387)	116	46	8	12	64	12	154	116	4	9	47	29	23	105	1	108	854	8.6	2.2
ワーケーション	(n=2)							6							1			7	0.1	3.5
観光・その他	(n=19)	8	1			4		22	2				1		2	2	5	47	0.5	2.5
帰省·仕事	(n=343)	61	24	5	38	105	1	210	55	2		46	12	11	132	6	74	782	7.9	2.3
その他	(n=51)	24	2	1	1	7		27	6			2			5	1	3	79	0.8	1.5
全体	(n=4,000)	875	632	77	220	1,136	32	3,327	733	23	72	619	156	202	860	76	918	9,958	100.0	2.5

## (表 2-9)旅行目的別立寄市町村割合(%)

		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16
		東洋室戸	奈半利 田野 等	安芸芸西	香南	南国香美	本山 大豊 等	高知	いの	土佐日高	佐川 越知 等	須崎 中土佐	梼原 津野	四万十町	黒潮 四万 十市	宿毛三原	土佐 清水 大月
自然見物	(n=940)	9.6	13.1	1.1	1.4	8.5	0.2	29.5	8.2		1.2	1.8	2.0	1.5	10.6	0.1	11.2
休養	(n=126)	9.2	9.8	1.0	1.0	9.2		22.6	10.5	0.3	0.3	15.4	1.0	2.0	9.5	1.0	7.2
祭り	(n=37)	7.6	7.6		3.8	6.3		41.8	12.7	1.3	7.6	2.5		2.5	1.3	1.3	3.8
アウトドア	(n=152)	7.7	1.3	0.3	0.3	5.3	0.5	21.2	13.0		2.9	10.8	3.2	1.9	16.1	8.0	14.8
スポーツ	(n=22)	6.4	2.1	12.8		6.4		38.3	6.4			4.3		2.1	17.0		4.3
食べ物	(n=707)	6.2	2.8	0.5	1.0	8.4	0.2	41.4	6.4	0.2	0.3	16.2	1.6	1.7	6.9	0.2	5.9
神仏霊場	(n=127)	13.2	5.3	0.5	2.3	11.1		12.4	1.5	1.8		0.3		14.2	2.3	12.4	22.8
買い物	(n=181)	17.9	3.5	0.3	1.9	4.5	1.0	27.2	15.3	1.3	0.3	16.9	0.3	2.9	5.8		1.0
名所旧跡	(n=906)	6.0	4.8	0.5	4.1	20.6	0.2	45.9	3.6		0.4	0.9	8.0	0.7	4.1	0.2	7.1
なんとなく	(n=387)	13.6	5.4	0.9	1.4	7.5	1.4	18.0	13.6	0.5	1.1	5.5	3.4	2.7	12.3	0.1	12.6
ワーケーション	(n=2)							85.7							14.3		
観光・その他	(n=19)	17.0	2.1			8.5		46.8	4.3				2.1		4.3	4.3	10.6
帰省·仕事	(n=343)	7.8	3.1	0.6	4.9	13.4	0.1	26.9	7.0	0.3		5.9	1.5	1.4	16.9	0.8	9.5
その他	(n=51)	30.4	2.5	1.3	1.3	8.9		34.2	7.6			2.5			6.3	1.3	3.8
全体	(n=4,000)	8.8	6.3	0.8	2.2	11.4	0.3	33.4	7.4	0.2	0.7	6.2	1.6	2.0	8.6	0.8	9.2

※ 白抜き は旅行目的で1位、 太字 は同2位

# ・立寄観光地の延べ件数

旅行目的別に立寄った観光地をみると、"自然見物"が 2,457 件(24.7%)と最も多く、次いで、 "名所旧跡"が 2,284 件(22.9%)、"食べ物"が 1,931 件(19.4%)、"なんとなく"が 854 件(8.6%)、 "帰省・仕事"が 782 件(7.9%)などと続いている。

平均立寄数は、"神仏霊場"が 3.1 件と最も多く、次いで、"食べ物"が 2.7 件、"自然見物"が 2.6 件、"アウトドア""名所旧跡""観光・その他"が 2.5 件などと続いている。

※サンプル数の少ないワーケーションを除く。

## ・旅行目的ごとの立寄市町村の傾向

大半の旅行目的で「高知」が最も多い割合を占めているが、"神仏霊場"は「土佐清水・大月」が最も多くなっている。

次いで、"名所旧跡"は「南国・香美」が、"その他"と"買い物"などは「東洋・室戸」が、"スポーツ" と"帰省・仕事"などは「黒潮・四万十市」が、"なんとなく"と"祭り"は「いの」が、"自然見物"は「奈半利・田野等」が、"食べ物"と"休養"は「須崎・中土佐」が、"神仏霊場"は「四万十町」がそれぞれ2番目に多くなっている。

- **自然見物(n=940)**:「奈半利・田野等」で旅行目的別の1位となっている。
- **名所旧跡(n=906)**:「南国・香美」で旅行目的別の1位、「香南」「高知」で2位となっている。
- **食べ物(n=707)**:」「須崎・中土佐」で全体平均を上回っている。
- なんとなく(n=387):「本山・大豊等」「梼原・津野」で旅行目的別の1位、「いの」で2位となっている。
- 帰省・仕事(n=343):「香南」で旅行目的別の1位、「南国・香美」「黒潮・四万十市」で2位となっている。
- 買い物(n=181):「いの」「須崎・中土佐」で旅行目的別の1位となっている。
- アウトドア (n=152): 「佐川・越知等」「梼原・津野」「土佐清水・大月」で全体平均を上回っている。
- 神仏霊場(n=127):「土佐・日高」「四万十町」「宿毛・三原」「土佐清水・大月」で旅行目的別の 1位となっている。
- 休養(n=126):「奈半利・田野等」で旅行目的別の2位となっている。
- **その他(n=51)**:「東洋・室戸」で旅行目的別の1位、「安芸・芸西」で2位となっている。

# 3. 周遊ルート分析

### ● 報告内容について

この項目では、令和4年観光統計調査で得られた、「訪問した(する予定の)観光地」データを基に、旅行者(発地ブロック別、旅行形態別)がどのような順序でどの県内地域を観光したか、その<u>周</u>遊性の高いルートを分析している。

#### ● 集計方法について

- ・ 「訪問した(する予定の)観光地」を下記の<u>周遊7エリアで集計</u>し、傾向の似通ったルート を抽出している。
- ・ 周遊ルートの傾向をより分かりやすくするため、訪問した周遊エリアで<u>連続したデータは</u> 省略している。

※例「高知市」-「高知市」-「東部」の場合、「高知市」-「東部」として集計。

- ・ 発地ブロック別分析では、北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外の5 ブロックからは入込が少数のため、この5ブロックを合計し、"その他の地域ブロック"として集計している。
- ・ 県内旅行者の周遊ルートは居住地や調査地等の影響を強く受けているため、全体およ び四国ブロックから除外し、単独で集計している。

#### ● 周遊7エリア

東部:東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、安芸市、芸西村、馬路村

物部川 :香南市、南国市、香美市

高知市 :高知市

仁淀川 :いの町、土佐市、日高村、佐川町、越知町、仁淀川町

高幡:須崎市、中土佐町、梼原町、津野町、四万十町

幡多 :四万十市、黒潮町、宿毛市、三原村、土佐清水市、大月町

嶺北 :本山町、大豊町、土佐町、大川村

## ● 調査結果の概要

県外旅行者全体の周遊ルート(P158)は、「高知市」のみが11.9%と最も多く、上位4位までを単一エリアで観光を終える周遊ルートが占めている。他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが多くなっている。

## 発地別での傾向

- 四国:発地ブロック別にみると、「物部川」「幡多」「東部」「高幡」の単一エリアで観光を終える周遊ルートは最も多く、「高知市」のみ、「東部→高知市」、「高知市→幡多」は最も少ない。(P160・161)
- 近畿: 発地ブロック別にみると、「東部→高知市」は最も多い。上位9位までの周遊ルートは、「幡多」「高知市」「東部」「物部川」の4エリアだけで構成されている。(P162・163)
- 中国: 発地ブロック別にみると、「物部川」と「高知市」を組み合わせた周遊ルート、「仁淀川→高知市」は最も多い。(P164・165)
- **関東**: 発地ブロック別にみると、「高知市」のみは最も多く、「幡多」のみ、「物部川」のみ、「物部川→高知市」、「東部」のみ、「高幡」のみは最も少ない。(P166・167)
- **その他の地域ブロック**: 発地ブロック別にみると、「高知市→幡多」は最も多く、「高知市」 と「物部川」を組み合わせた周遊ルート、「仁淀川→高知市」は最も少ない。(P168・169)
- **高知県**: 単一エリアで観光を終える周遊ルートで 91.8%を占め、他エリアへの移動を伴う 周遊ルートの割合はわずかとなっている。(P170・171)

#### 旅行形態別での傾向

- **家族**: 単一エリアで観光を終える周遊ルートで 56.5%を占める。旅行形態別にみると、「物部川→高知市」は最も多く、「高知市」のみ、「高知市→幡多」は最も少ない。(P172・173)
- **友人・知人**: 単一エリアで観光を終える周遊ルートで 48.8%を占める。旅行形態別にみると、「高幡」のみ、「東部→高知市」、「高知市→物部川」は最も多く、「幡多」のみは最も少ない。(P174・175)
- 団体: 単一エリアで観光を終える周遊ルートで 63.7%を占める。旅行形態別にみると、「高知市」のみ、「物部川」のみ、「仁淀川→高知市」、「高知市→幡多」は最も多い。周遊ルートは、「高知市」「物部川」「仁淀川」「幡多」「東部」の5エリアだけで構成されている。(P176・177)
- 一人: 単一エリアで観光を終えるルートで 60.7%を占める。旅行形態別にみると、「東部」のみ、「幡多」のみは最も多く、「物部川」のみ、「仁淀川→高知市」は最も少ない。(P178・179)

# 3-1. 発地別周遊ルート

# 3-1-1. 県外旅行者全体

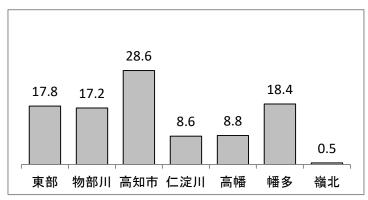
(表 3-1) 周遊ルート上位 10 位(件・%) [ 県外全体 ]

周遊1	$\rightarrow$	周遊2	$\rightarrow$	周遊3	組数	割合
高知市					357	11.9%
幡多					318	10.6%
物部川					251	8.4%
東部					222	7.4%
物部川	$\rightarrow$	高知市			133	4.4%
高知市	$\rightarrow$	物部川			104	3.5%
東部	$\rightarrow$	高知市			101	3.4%
高幡					94	3.1%
仁淀川	$\rightarrow$	高知市			87	2.9%
高知市	$\rightarrow$	幡多			82	2.7%

県外旅行者 2,993 組の周遊ルートをみると、「高知市」のみで観光を終える割合が 11.9%と最も 多く、次いで、「幡多」のみが 10.6%、「物部川」のみが 8.4%、「東部」のみが 7.4%と続いている。 単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位4位までを占めている。

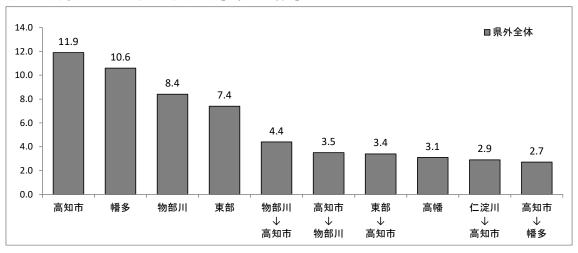
また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「物部川→高知市」が 4.4%と最も多く、次いで、「高知市→物部川」が 3.5%、「東部→高知市」が 3.4%、「仁淀川→高知市」が 2.9%と続いており、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが上位を占めている。

(図 3-2) 周遊ルートの玄関口(%)[ 県外全体]



旅行中に最初に立ち寄ったエリアは、「高知市」が28.6%と最も多く、次いで、「幡多」が18.4%、「東部」が17.8%、「物部川」が17.2%、「高幡」が8.8%、「仁淀川」が8.6%、「嶺北」が0.5%と続いている。

(図 3-3)周遊ルート上位 10 位(%) [ 県外全体 ]



3-1-2. 四国

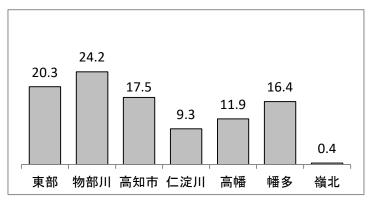
(表 3-4)周遊ルート上位 10 位(件・%) [ 四国3県 ]

周遊1	$\rightarrow$	周遊2	$\rightarrow$	周遊3	組数	割合
物部川					141	15.0%
幡多					127	13.5%
東部					120	12.8%
高知市					97	10.3%
高幡					58	6.2%
物部川	$\rightarrow$	高知市			49	5.2%
仁淀川					40	4.3%
高知市	$\rightarrow$	物部川			32	3.4%
東部	$\rightarrow$	物部川			29	3.1%
	(対象	多数のため	か省略)		26	2.8%

高知県をのぞく四国3県の旅行者939組の周遊ルートをみると、「物部川」のみで観光を終える割合が15.0%と最も多く、次いで、「幡多」のみが13.5%、「東部」のみが12.8%、「高知市」のみが10.3%と続いている。単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位5位までを占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「物部川→高知市」が 5.2%と最も多く、次いで、「高知市→物部川」が 3.4%、「東部→物部川」が 3.1%と続いている。

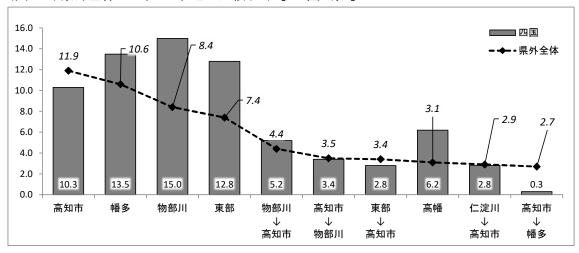
(図 3-5) 周遊ルートの玄関口(%) [四国3県]



旅行中に最初に立ち寄った周遊エリアは、「物部川」が 24.2%と最も多く、次いで、「東部」が 20.3%、「高知市」が 17.5%、「幡多」が 16.4%、「高幡」が 11.9%、「仁淀川」が 9.3%、「嶺北」が 0.4%と続いている。

なお、「物部川」の割合が発地ブロック別で最も多くなっている(P180:参考1)。

(図 3-6)県外全体の上位 10 位との比較(%)[四国3県]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」をのぞく単一エリアで観光を終える周遊ルートが目立って多くなっている一方で、「高知市」のみと「高知市→幡多」が目立って少なくなっている。

3-1-3. 近畿

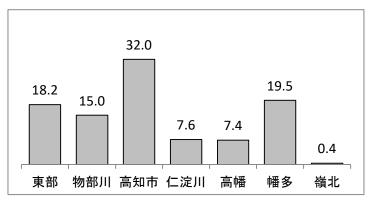
(表 3-7)周遊ルート上位 10 位(件・%) [ 近畿 ]

周遊1	$\rightarrow$	周遊2	$\rightarrow$	周遊3	組数	割合
幡多					97	11.7%
高知市					88	10.6%
東部					60	7.2%
物部川					55	6.6%
高知市	$\rightarrow$	物部川			38	4.6%
物部川	$\rightarrow$	高知市			35	4.2%
東部	$\rightarrow$	高知市			35	4.2%
高知市	$\rightarrow$	東部			30	3.6%
幡多	$\rightarrow$	高知市			26	3.1%
仁淀川	$\rightarrow$	高知市			25	3.0%

近畿ブロックの旅行者 829 組の周遊ルートをみると、「幡多」のみで観光を終える割合が 11.7% と最も多く、次いで、「高知市」のみが 10.6%、「東部」のみが 7.2%、「物部川」のみが 6.6%と続いている。

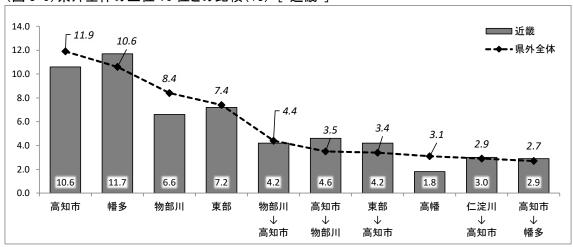
他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが合計 8.8%、「高知市」と「東部」の組み合わせが合計 7.8%、「幡多→高知市」が 3.1%、「仁淀川→高知市」が 3.0%となっている。

(図 3-8)周遊ルートの玄関口(%)[ 近畿]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が32.0%と最も多く、次いで、「幡多」が19.5%、「東部」が18.2%、「物部川」が15.0%、「仁淀川」が7.6%、「高幡」が7.4%、「嶺北」が0.4%と続いている。

(図 3-9)県外全体の上位 10 位との比較(%)[ 近畿]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「物部川」「高知市」「高幡」の単一エリアで観光を終える周遊ルートが少なくなっている一方で、「幡多」のみ、「高知市→物部川」、「東部→高知市」などが多くなっている。

# 3-1-4. 中国

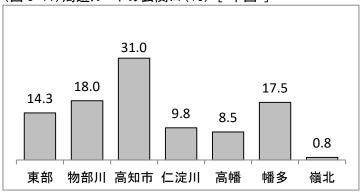
(表 3-10)周遊ルート上位 10 位(件・%) [ 中国 ]

周遊1	$\rightarrow$	周遊2	$\rightarrow$	周遊3	組数	割合
高知市					43	11.4%
幡多					38	10.1%
物部川	$\rightarrow$	高知市			26	6.9%
物部川					24	6.4%
高知市	$\rightarrow$	物部川			19	5.0%
東部					18	4.8%
仁淀川	$\rightarrow$	高知市			15	4.0%
東部	$\rightarrow$	高知市			13	3.4%
高幡					11	2.9%
	(対象	多数のため	省略)		10	2.7%

中国ブロックの旅行者 377 組の周遊ルートをみると、「高知市」のみで観光を終える割合が 11.4%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 10.1%、「物部川→高知市」が 6.9%、「物部川」のみが 6.4%、「高知市→物部川」が 5.0%と続いている。

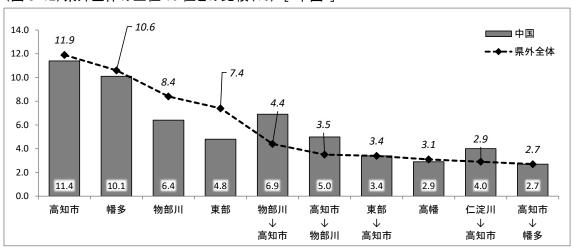
また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが合計 11.9%、「仁淀川→高知市」が 4.0%、「東部→高知市」が 3.4%と続いている。

(図 3-11) 周遊ルートの玄関口(%) [中国]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が31.0%と最も多く、次いで、「物部川」が18.0%、「幡多」が17.5%、「東部」が14.3%、「仁淀川」が9.8%、「高幡」が8.5%、「嶺北」が0.8%と続いている。

(図 3-12)県外全体の上位 10 位との比較(%)[中国]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「東部」のみ、「物部川」のみが目立って少なくなっている一方で、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルート、「仁淀川→高知市」が多くなっている。

3-1-5. 関東

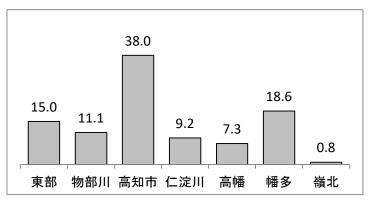
(表 3-13)周遊ルート上位 10 位(件・%) [ 関東 ]

周遊1	$\rightarrow$	周遊2	$\rightarrow$	周遊3	組数	割合
高知市					75	15.7%
幡多	$\rightarrow$	高知市			25	5.2%
幡多					24	5.0%
高知市	$\rightarrow$	幡多			22	4.6%
物部川					16	3.3%
東部	$\rightarrow$	高知市			16	3.3%
東部	$\rightarrow$	高知市	$\rightarrow$	幡多	15	3.1%
仁淀川	$\rightarrow$	高知市			14	2.9%
物部川	$\rightarrow$	高知市			13	2.7%
東部					12	2.5%

関東ブロックの旅行者 479 組の周遊ルートをみると、「高知市」のみで観光を終える割合が 15.7%と最も多く、次いで、「幡多→高知市」が 5.2%、「幡多」のみが 5.0%、「高知市→幡多」が 4.6%、「物部川」のみと「東部→高知市」が 3.3%と続いている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「高知市」と「幡多」を組み合わせた周遊ルートが合計 9.8%、「東部→高知市」が 3.3%、「東部→高知市→幡多」が 3.1%と続いている。

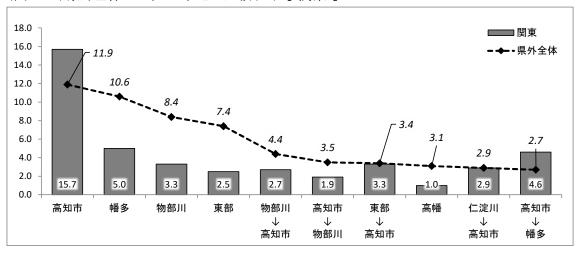
(図 3-14) 周遊ルートの玄関口(%) [ 関東 ]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が38.0%と最も多く、次いで「幡多」が18.6%、「東部」が15.0%、「物部川」が11.1%、「仁淀川」が9.2%、「高幡」が7.3%、「嶺北」が0.8%と続いている。

なお、「高知市」の割合が発地ブロック別で最も多くなっている(P180:参考1)。

(図 3-15)県外全体の上位 10 位との比較(%) [ 関東 ]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」のみ、「高知市→幡多」が多くなっている一方で、「高知市」をのぞく単一エリアで観光を終える周遊ルートは目立って少なくなっている。

# 3-1-6. その他の地域ブロック(北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外)

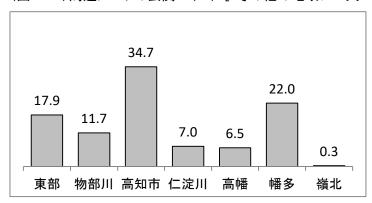
(表 3-16) 周遊ルート上位 8 位(件・%) [ その他の地域ブロック ]

周遊1	$\rightarrow$	周遊2	$\rightarrow$	周遊3	組数	割合
高知市					54	14.6%
幡多					32	8.7%
高知市	$\rightarrow$	幡多			23	6.2%
幡多	$\rightarrow$	高知市			18	4.9%
物部川					15	4.1%
東部					12	3.3%
東部	$\rightarrow$	高知市			11	3.0%
東部	$\rightarrow$	高知市	$\rightarrow$	幡多	10	2.7%
物部川	$\rightarrow$	高知市			10	2.7%
	(対象	多数のため	省略)		8	2.2%

その他の地域ブロックの旅行者 369 組の周遊ルートをみると、「高知市」のみで観光を終える割合が 14.6%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 8.7%、「高知市→幡多」が 6.2%、「幡多→高知市」が 4.9%、「物部川」のみが 4.1%と続いている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「高知市」と「幡多」を組み合わせた周遊ルートが合計 11.1%、「東部→高知市」が 3.0%、「東部→高知市→幡多」と「物部川→高知市」が同率で 2.7%と続いている。

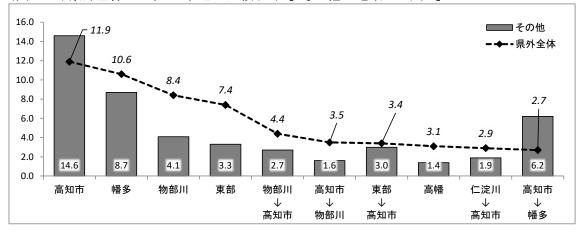
(図 3-17) 周遊ルートの玄関口(%) [ その他の地域ブロック ]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が34.7%と最も多く、次いで、「幡多」が22.0%、「東部」が17.9%、「物部川」が11.7%、「仁淀川」が7.0%、「高幡」が6.5%、「嶺北」が0.3%と続いている。

なお、「幡多」の割合が発地ブロック別で最も多くなっている(P180:参考1)。

(図 3-18) 県外全体の上位 10 位との比較(%) [ その他の地域ブロック ]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」のみと「高知市→幡多」が多くなっている一方で、その他のルートは少なくなっている。

# 3-1-7. 高知県

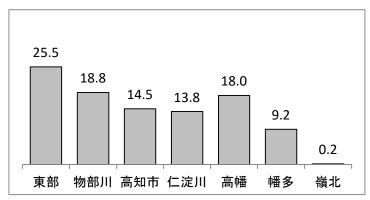
(表 3-19)周遊ルート上位 10 位(件・%) [ 県内 ]

周遊1	$\rightarrow$	周遊2	$\rightarrow$	周遊3	組数	割合
東部					251	24.9%
物部川					176	17.5%
高幡					158	15.7%
高知市					135	13.4%
仁淀川					128	12.7%
幡多					77	7.6%
高幡	$\rightarrow$	幡多			21	2.1%
幡多	$\rightarrow$	高幡			14	1.4%
物部川	$\rightarrow$	東部			10	1.0%
	(対象	多数のため	3省略)		5	0.5%

県内旅行者 1,007 組の周遊ルートをみると、「東部」のみで観光を終える割合が 24.9%と最も多く、次いで、「物部川」のみが 17.5%、「高幡」のみが 15.7%、「高知市」のみが 13.4%、「仁淀川」のみが 12.7%と続いており、単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位6位まで、割合では 91.8%と大半を占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「高幡」と「幡多」を組み合わせた周遊ルートが合計 3.5%、「物部川→東部」が 1.0%となっているが、その割合はいずれも非常に少なくなっている。

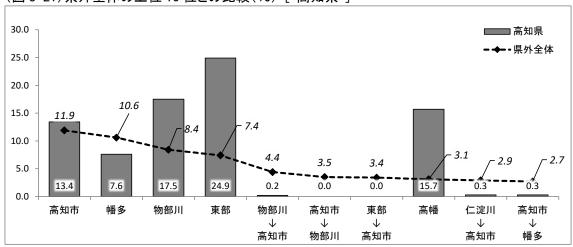
(図 3-20) 周遊ルートの玄関口(%)[高知県]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「東部」が25.5%と最も多く、次いで、「物部川」が18.8%、「高幡」が18.0%、「高知市」が14.5%、「仁淀川」が13.8%、「幡多」が9.2%、「嶺北」が0.2%と続いている。

なお、「東部」、「仁淀川」、「高幡」の割合が発地ブロック別で最も多くなっている(P180:参考1)。

(図 3-21) 県外全体の上位 10 位との比較(%) [ 高知県 ]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「幡多」をのぞく単一エリアで観光を終える周遊ルートが目立って多くなっている一方で、「幡多」のみや、他エリアへの移動を伴う周遊ルートが目立って少なくなっている。

# 3-2. 旅行形態別周遊ルート

3-2-1. 家族

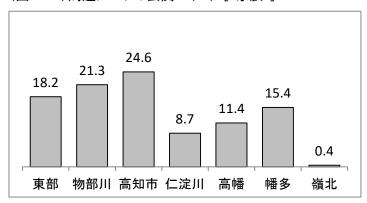
(表 3-22) 周遊ルート上位 10 位(件・%) [ 家族 ]

周遊1	$\rightarrow$	周遊2	$\rightarrow$	周遊3	組数	割合
物部川					376	13.4%
高知市					326	11.6%
東部					310	11.1%
幡多					271	9.7%
高幡					179	6.4%
仁淀川					120	4.3%
物部川	$\rightarrow$	高知市			112	4.0%
高知市	$\rightarrow$	物部川			81	2.9%
東部	$\rightarrow$	高知市			62	2.2%
高幡	$\rightarrow$	幡多			57	2.0%

家族旅行 2,804 組の周遊ルートをみると、「物部川」のみで観光を終える割合が 13.4%と最も多く、次いで、「高知市」のみが 11.6%、「東部」のみが 11.1%、「幡多」のみが 9.7%、「高幡」のみが 6.4%と続いており、単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位6位までを占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「物部川→高知市」が 4.0%と最も多く、次いで、 「高知市→物部川」が 2.9%、「東部→高知市」が 2.2%、「高幡→幡多」が 2.0%と続いている。

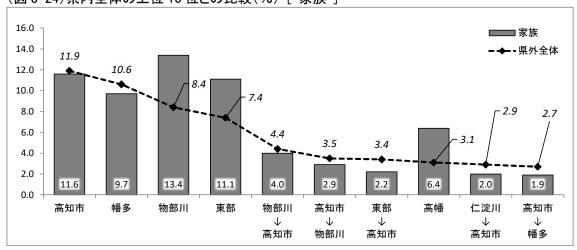
(図 3-23) 周遊ルートの玄関口(%)[家族]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が24.6%と最も多く、次いで、「物部川」が21.3%、「東部」が18.2%、「幡多」が15.4%、「高幡」が11.4%、「仁淀川」が8.7%、「嶺北」が0.4%と続いている。

なお、「物部川」の割合が旅行形態別で最も多くなっている(P180:参考1)。

(図 3-24) 県内全体の上位 10 位との比較(%)[ 家族]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「物部川」、「東部」、「高幡」の単一エリアで観光を終える割合が目立って多くなっている一方で、「幡多」のみや、他エリアへの移動を伴う周遊ルートが少なくなっている。

3-2-2. 友人•知人

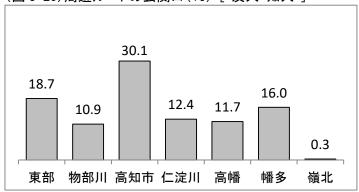
(表 3-25) 周遊ルート上位 10 位(件・%) [ 友人・知人 ]

周遊1	$\rightarrow$	周遊2	$\rightarrow$	周遊3	組数	割合
高知市					82	13.9%
東部					61	10.4%
幡多					46	7.8%
高幡					40	6.8%
物部川					30	5.1%
仁淀川					28	4.8%
東部	$\rightarrow$	高知市			24	4.1%
仁淀川	$\rightarrow$	高知市			24	4.1%
高知市	$\rightarrow$	物部川			19	3.2%
	(対象	多数のため	省略)		17	2.9%

友人・知人との旅行者 589 組の周遊ルートをみると、「高知市」のみで観光を終える割合が 13.9%と最も多く、次いで、「東部」のみが 10.4%、「幡多」のみが 7.8%、「高幡」のみが 6.8%、「物部川」のみが 5.1%と続いている。単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位6位までを占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「東部→高知市」と「仁淀川→高知市」が同率で 4.1%と最も多く、「高知市→物部川」が 3.2%と続いている。

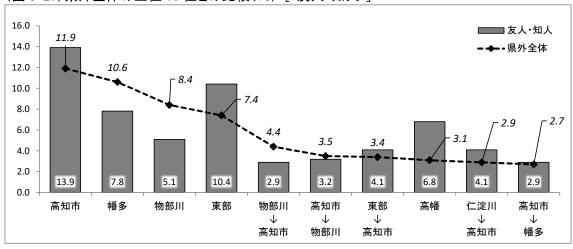
(図 3-26) 周遊ルートの玄関口(%) [ 友人・知人 ]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が30.1%と最も多く、次いで、「東部」が18.7%、「幡多」が16.0%、「仁淀川」が12.4%、「高幡」が11.7%、「物部川」が10.9%、「嶺北」が0.3%と続いている。

なお、「高幡」の割合が旅行形態別で最も多くなっている(P180:参考1)。

(図 3-27) 県外全体の上位 10 位との比較(%) [ 友人・知人 ]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高幡」、「東部」、「高知市」の単一エリアで観光を終える割合が目立って多くなっている一方で、「物部川」のみ、「幡多」のみ、「物部川→高知市」などが少なくなっている。

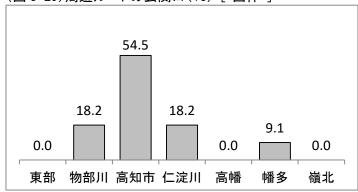
3-2-3. 団体

(表 3-28) 周遊ルート上位 5 位 (件・%) [ 団体 ]

周遊1	$\rightarrow$	周遊2	$\rightarrow$	周遊3	組数	割合
高知市					4	36.4%
物部川					2	18.2%
仁淀川	$\rightarrow$	高知市			2	18.2%
幡多					1	9.1%
高知市	$\rightarrow$	幡多			1	9.1%
高知市	$\rightarrow$	物部川	$\rightarrow$	東部	1	9.1%

団体旅行 11 組の周遊ルートをみると、「高知市」のみで観光を終える割合が 36.4%と最も多く、 次いで、「物部川」のみと「仁淀川→高知市」が同率で 18.2%、「幡多」のみ、「高知市→高幡」、 「高知市→物部川→東部」が同率で 9.1%と続いている。

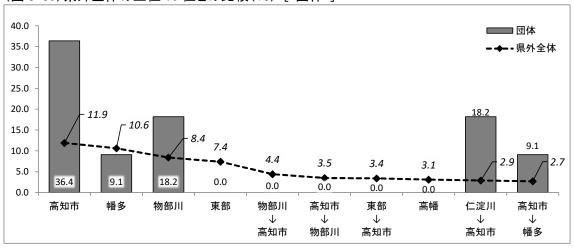
(図 3-29) 周遊ルートの玄関口(%) [団体]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が54.5%と最も多く、次いで、「物部川」と「仁淀川」が同率で18.2%、「幡多」が9.1%と続いている。

なお、「高知市」「仁淀川」の割合が旅行形態別で最も多くなっている(P180:参考 1)。

(図 3-30) 県外全体の上位 10 位との比較(%) [団体]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」のみ、「仁淀川→高知市」、「物部川」のみ、 「高知市→幡多」が多くなっている一方で、その他のルートは少なくなっている。

3-2-4. 一人

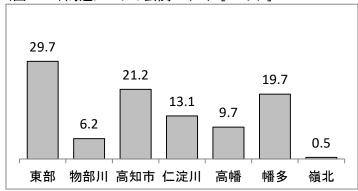
(表 3-31) 周遊ルート上位 10 位(件・%) [ 一人 ]

周遊1	$\rightarrow$	周遊2	$\rightarrow$	周遊3	人数	割合
東部					102	17.6%
高知市					78	13.4%
幡多					74	12.8%
仁淀川					49	8.4%
高幡					33	5.7%
物部川					16	2.8%
東部	$\rightarrow$	高知市			15	2.6%
東部	$\rightarrow$	高知市	$\rightarrow$	幡多	15	2.6%
高知市	$\rightarrow$	幡多			13	2.2%
幡多	$\rightarrow$	高知市			13	2.2%

一人旅の旅行者 580 人の周遊ルートをみると、「東部」のみで観光を終える割合が 17.6%と最も 多く、次いで、「高知市」のみが 13.4%、「幡多」のみが 12.8%、「仁淀川」のみが 8.4%、「高幡」 のみが 5.7%と続いている。単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位6位までを占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「東部→高知市」と「東部→高知市→幡多」が同率で 2.6%と最も多く、次いで、「高知市→幡多」と「幡多→高知市」が同率で 2.2%と続いている。

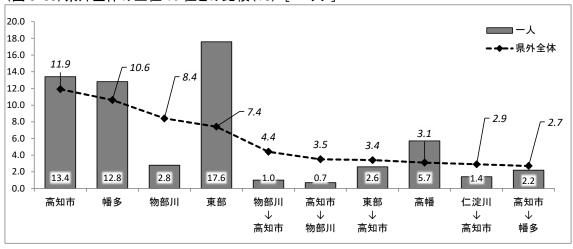
(図 3-32) 周遊ルートの玄関口(%)[一人]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「東部」が29.7%と最も多く、次いで、「高知市」が21.2%、「幡多」が19.7%、「仁淀川」が13.1%、「高幡」が9.7%、「物部川」が6.2%、「嶺北」が0.5%と続いている。

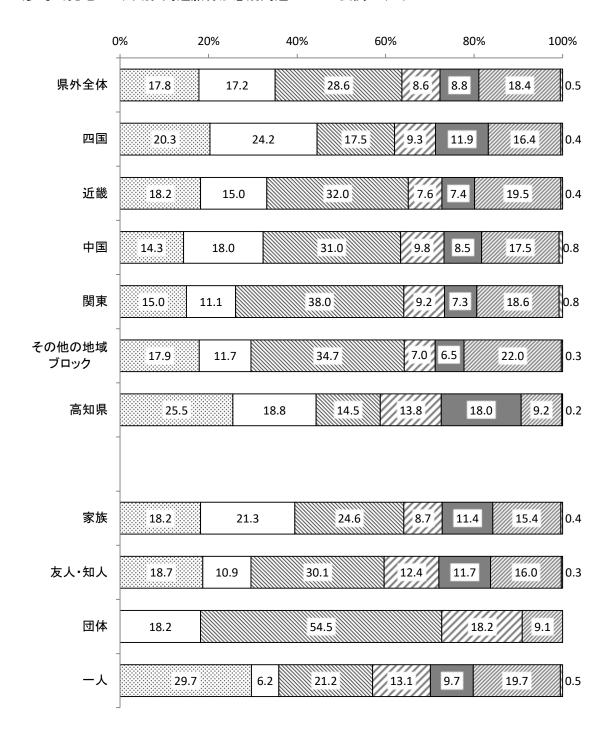
なお、「東部」、「幡多」、「嶺北」の割合が旅行形態別で最も多くなっている(P180:参考1)。

(図 3-33) 県外全体の上位 10 位との比較(%) [ 一人 ]



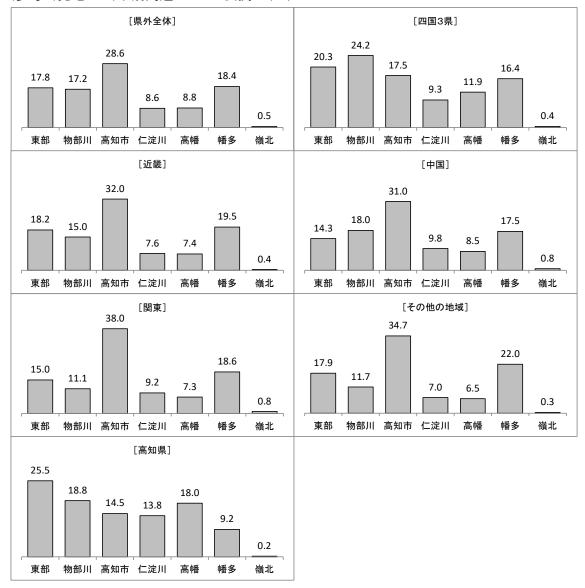
県外全体の上位 10 位との比較をみると、「物部川」をのぞく単一エリアで観光を終える周遊ルートが多くなっている一方で、「物部川」のみや、他エリアへの移動を伴う周遊ルートが目立って少なくなっている。

(参考 1)発地ブロック別・周遊旅行形態別周遊ルートの玄関口(%)



図東部 □物部川 図高知市 □仁淀川 ■高幡 □幡多 □嶺北

# (参考2)発地ブロック別周遊ルートの玄関口(%)



# (参考3)旅行形態別周遊ルートの玄関口(%)

